

鉢

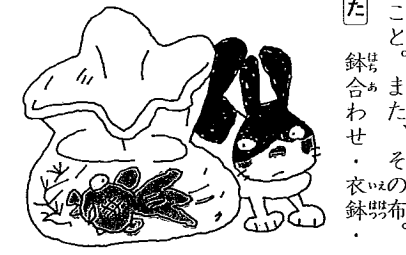
ハチ・ハツ
おん

13画
金 針 鉢 鉢

なりたち 本字は鉢。誤つて鉢となる。金と米との形声字で、梵語(五ん)パツトラの音訳。鉢多羅(僧の用いる食器)の略語。皿より大きくて深い器。転じて、植木を植える器。



いみじゆく
▼僧の用いる食器。
托鉢(たつぱつ)：僧が修行のため、鉢を持って人家を回り、経文を唱えて米や金をもらって歩くこと。例 托鉢僧
▼皿より大きくて深い容器。
植木鉢：盆栽などを植える鉢
鉢物：①鉢に植えた木。盆栽。②鉢に盛って出す料理。
金魚鉢：金魚を入れる水槽。
▼頭の上。鉢巻き：額に手ぬぐいなどを巻くこと。また、その布。
よみかた 鉢合わせ・衣鉢・火鉢



銭

セン
おん

14画
金 鈔 銭 銭 銭

なりたち 旧字体は銭。わずかの意味の幾(せと)と、金との会意形声字。「わずかな金」という意味の字。金属製の小額の貨幣(円の百分の二)のこと。「ぜ」には「セン」のなまり。



いみじゆく
▼金属製の小額貨幣。
金銭：お金の貨幣。用例 金銭ずくて事を運ぶ。(感情を無視して、金のことだけで物事を行う。)
古銭：昔のお金。
口銭：売買の仲介手数料。
悪銭：①悪い事をして得たお金。特にばくちなどで得たお金の。②質の悪いお金。
悪貨。
小銭：少額のお金。例 小銭入れ
銭湯：ふる屋。お金を取って入浴させる所。

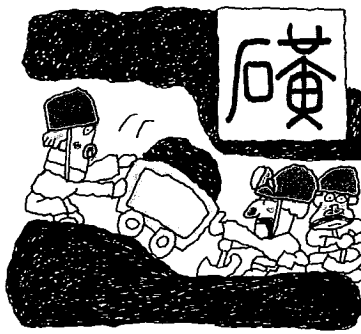
よみかた 銭入れ・借錢
さんこう 身銭を切る 必要費用を自分自身のお金で支払うこと。

鉦

コウ
おん

13画
金 鈔 鉦 鉦 鉦

なりたち 旧字体は鑿。古い字は鑿で、黄(こ)と石との会意形声字。黄鉄鉦や黄銅鉦等の黄色い色をした鉦石を表した字で、後に金属を採ることを強調して石へんが金へんに変わった。



いみじゆく
▼地中から掘り出す、精錬していない金属。
鉦石：有用な金属を含んでいる岩石。有用な鉦物。
鉦物：地中に含まれている、天然の無機物。
鉦山：鉦石を産出する山。金山・銀山・銅山など。
鉦床：鉦石が集中している所。
鉦脈：地中の岩石のすき間に、板状に鉦石が集まった所。
用例 鉦脈を発見する。
鉦泉：鉦物質を多く含む泉。ふつうは冷泉をいうが、温泉を含むこともある。
採鉦：鉦石を掘り出すこと。
選鉦：採掘した鉦石から有用な物をより分けること。
廢鉦：鉦山の経営をやめると。また、その鉦山。

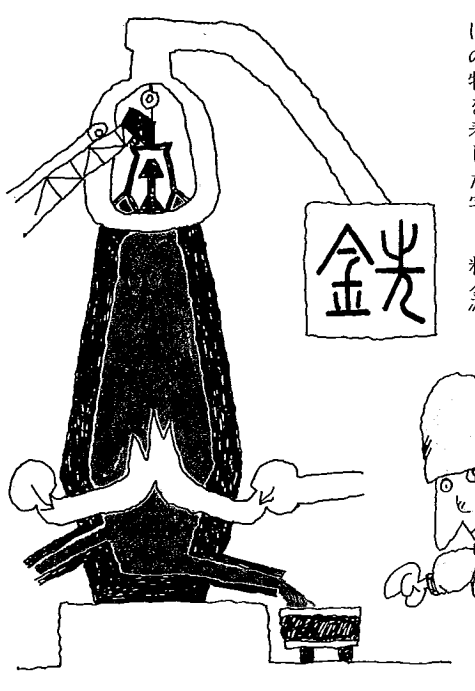
よみかた 鉦業・鉦産物・鉦毒・鉦夫・金鉦・炭鉦・鉄鉦

銑

セン
おん

14画
金 鈔 銑 銑 銑

なりたち 洗の意味の先(せん)と、金との会意形声字。洗って汚れを取り除くように、鉦石から雑物を取り除いた金属質だけの物を表した字。「粗金」の原料となる。



いみじゆく
▼粗金。
銑鉄：鉄石を溶鉦炉で溶かして作った、炭素の含有率の高い、もろい鉄。鋳物の原料となる。
銑鋼：銑鉄と鋼鉄(炭素の含有量を少なくし、強く鍛えた鉄)。

鉦

鉢